

地域とともにある学校

魅力ある学校づくりを目指して

<校訓>

樹の如く伸びよ 星の如く輝け

<学校教育目標>

自律する人間 共創する人間 録磨する人間

2020/1/21 (火) 発行

校長通信 NO37
北海道日高等学校
町田英謙

クリスマス会

令和元年12月19日(木)、クリスマス会が総合体育館、町民センター集会所で開催されました。

午前中は、バレーボール大会で汗を流し、各班に分かれて鍋を作り、集会所で生徒会執行部を中心にプログラムされた企画を行いました。3年生にとっては高校生活最後のクリスマス会でしたが、時間が限られている中、個人で5組の素晴らしい発表があり、大いに盛り上げてくれました。

お腹もいっぱい、たくさん語り合い、笑いが絶えない最高の時間となりました。

終業式

12月20日(金)、2学期の終業式が本校ホールで開催されました。当日、私は出張で欠席させていただきましたが、前日のクリスマス会で生徒には今学期を含めた思いを伝えさせていただきました。当日は、教頭先生から2学期終了に係り、生徒へのお話をさせていただきました。また、各分掌部長より、冬休みの過ごし方や、個々の課題解決に向けた取組、将来の展望に向けた計画と行動について生徒へ伝えていただきました。

新年のご挨拶

令和2年「新年明けましておめでとうございます。」今年も皆様にとって素晴らしい一年になることを心よりご祈念申し上げます。

さて、今年は全国的には、東京オリンピックが開催される年です。56年前に東京で行われたオリンピックから半世紀が過ぎ、また東アジアの日本で開催できることは本当に素晴らしいことです。世界の各地では紛争が絶えない中、オリンピックは平和の祭典として、世界の人々とスポーツを通じて交流することができる機会となります。

競技種目で競いながら、相手を尊重し、記録や能力技能を極限まで発揮して、見ている者に夢や感動を与えることができる祭典です。

学校では、3月の卒業式、来年度の入学生受け入れ準備、1年間の総まとめと短い期間ではありますが、沢山のイベントがあります。年末年始の疲れがあると思いますが、生徒達の未来に向けて全力を尽くして頑張っていきましょう。今年もよろしく願いいたします。

全道校長会後期研究協議会

1月7日(火)～8日(水)にホテルライフォート札幌において、全道校長会が開催されました。

冒頭、宮下会長(札幌北高等学校長)からのご挨拶で、次のような内容がありました。

- ・高大接続改革 ～ 新しい時代の資質能力育成を目標
授業改善・評価が必須
- ・管理職の育成 ～ 人員確保、学校・行政が一体化
教職員の学校参画意識の高揚
- ・服務規律の徹底 ～ 所属職員への徹底、
熱心な先生⇒度を超すと体罰等の傾向
- ・働き方改革 ～ 時間外勤務の削減、北海道アクション
プラン⇒実効性を高める

また、北海道教育委員会教育委員 山本伸弘 様からは、5月から「令和」の新時代、ラグビーワールドカップ自国開催で大活躍、リチウムイオン電池のノーベル賞の受賞、国連でおこなわれた「世界津波の日」で、北海道から4名の高校生が参加、令和4年度新学習指導要領の実施、未来を切り拓く学校経営の改善と充実、お話をいただきました。校長会では、その他沢山の発表等がありました。

高教研(全体講演・教科)

1月8日(水)、9日(木)に札幌市民交流プラザ(札幌文化芸術劇場 hitaru)と、2日目の教科部会では、北海道経済センター大ホールで高教研が開催されました。

全体講演では、北海道大学北極域研究センターの齊藤誠一氏が「これからの北極域研究-気候変動とSDGsの視点から」と題して、地球規模の温暖化が次世代に与える影響についてご講演をいただきました。

2日目の保健体育部会では、北海道医療大学薬学部の笠師久美子様からドーピングを含めた身近な知識をご講演いただき、研究発表では、「主体的で対話的な深い学びの充実を目指す授業について研究協議されました。

高相研(北海道高等学校教育相談研究大会)

1月10日(金)に北海学園大学において、第48回の高相研が開催されました。

幹事を務める坂本先生とともに参加しました。

全体講演では、「学習者の可能性を引き出すコーチング」と題しまして、京都造形芸術大学 本間正人氏にご講演をいただきました。本間氏は「教育学」を超える「学習学」の提唱者であり、「楽しくて、即、役に立つ」参加型研修の講師としてアクティブ・ラーニングを25年以上実践し、「研修講師塾」を主催しています。同大学教授・副学長、NPO 学習学協会代表理事、NPO ハートリズム実行委員会理事。コーチングやポジティブ組織開発、ほめ言葉などの著書77冊。東京大学文学部卒業、ミネソタ大学大学院修了。松下政経塾研究主担当等、素晴らしい経歴の人物です。

講演の一部内容を掲載します。素晴らしい講演でした。

- ・自己肯定感を高めるコミュニケーション能力の育成
- ・人を育てる方法 松下政経塾の精神 人はダイヤモンドの原石
- ・大人は子供達の輝きさせることができる「切磋琢磨」
- ・良き学習者の見本 「学ぶ気持ちを持つ」
- ・人間は共感し合うことができる存在
- ・マスコミはバットニュースが多い。
- ・ヒーローインタビューを取り上げ⇒ベストプラクティス
- ・スクールプラン⇒組織力を高める
- ・学校は地域とともに学習拠点
- ・褒めることは難しい(教師は欠点弱点を見る傾向あり)
- ・生徒の良いところを見ていく。
- ・先生も生徒も失敗を恐れる⇒チャレンジは必ず学びがある
⇒失敗ではなく、不成功
- ・教師の対応は、子供達の未来を繋げていく

始業式

1月15日(水)に本校において、3学期の始業式が行われました。競技スキーインターハイ予選参加の2年生田中君以外、全校生徒が参加し、それぞれの思いを胸に秘めて、卒業や学年のまとめ時期である今学期の大切さを確認する時間となりました。